

Amizade

姉妹都市協会ニュース

No. 30

2012年4月 (平成24年)

会長あいさつ

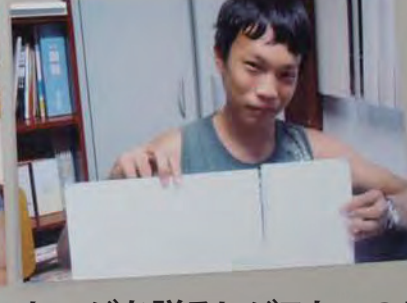
東日本大震災の復興に向けて

レジストロから義援金が届く

レジストロから贈られた千羽鶴が福島に届く



被災地の復興を祈る「千羽鶴」



千羽鶴・応援メッセージを贈るレジストロの子どもたち

アミザーチ第30号の発刊にあたって

名誉会長

中津川市長 青山節児



1980年(昭和55年)8月4日、ブラジル連邦共和国サンパウロ州レジストロ市と中津川市が姉妹都市提携を行って以来、31年が経過しました。この間、相互訪問などの姉妹都市交流を重ねながら友好関係を深めてまいりました。この歴史ある友好親善を誇りに思うとともに、築き上げ

てこられた先人の方々に感謝を申し上げます。

また、昨年は東日本大震災の復興支援としてレジストロ市から義援金、千羽鶴などを送っていただきました。

人と人とのつながりが薄れつつある現代の中でこのような関わりがもてたのも、これまで重ねてきた交流が両市両国の絆を育んだものと感じております。

今後もこの姉妹都市交流が市民全体の交流として、両市の産業、文化、教育などに寄与することを願い、皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

レジストロ移民100周年を控えて

レジストロ市にはブラジルに渡った日本人やその子孫が多く生活しています。

1908年最初の日本移民がブラジルのサントス港に降り立ってから5年後の1913年(大正2年)初めてイグアッペ植民地(現在のレジストロ市などの総称)へ日本人が入植しました。



レジストロ市にある中津川公園

労働者としてコーヒー園で働いた初期の日本移民とは異なり、イグアッペ植民地には、土地を購入し永住を目的とした移民がほとんどでした。

レジストロ市は「日本移民ゆかりの地」としてブラジルのサンパウロ州から認定されています。

来年2013年は日本人がレジストロへ移民して100年の節目の年となります。

会長 杉本 潤



中津川市とレジストロ市は姉妹都市提携以来31年間友好を深めてまいりました。

ブラジルは2014年FIFAワールドカップ、2016年リオデジャネイロオリンピックを間近に控えて経済は非常に活性化しており、近い将来の世界を牽引する経済大国として非常に期待がされております。

一方、2011年は中津川市においても大きなニュースがありました。2027年に開業を目指すリニア中央新幹線(東京・名古屋間)の中間駅候補地として中津川市西部が決定しました。広域の拠点として、市の新たなまちづくりが期待されます。

また、2011年3月に発生した東日本大震災は、観測史上類を見ない規模で、その地震とその後発生し

た巨大津波は東日本の各地に甚大かつ深刻な被害を与えました。さらには福島原発の事故による被害や風評被害も重なり、日本はかつてない危機を迎えました。

震災後すぐにレジストロ市からも日本を心配する声が寄せられ、「復興の手助けをしたい」と、多くの団体から当協会へ義援金が送られてきましたので、市を通じて被災地へ届けさせていただきました。

また、レジストロの日本人学校に通う子供たちからは千羽鶴と復興への応援メッセージが届けられ、これを中津川市の実行委員会が復興支援として福島県大熊町の小学生のみなさんをおいでん祭に招待した際に直接手渡すことができました。

このような深い関わりがもてるのも、これまで先人たちが築いてきた友好親善の賜物であると感じ、今後両市の友好は益々強固に受け継がれていかなければならないと考えております。

今後とも市民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

また、被災された方々の1日も早い復興を祈念申し上げます。

東日本大震災の復興に向けて

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、巨大地震とそれに伴って発生した津波により東北地方を中心にかつてない甚大な被害をもたらしました。

復興支援の輪は広がりを見せ、国内はもちろん海外からも団体、個人を問わず多くの支援が寄せられました。

そんな中、レジストロ市からも震災の復興支援の一助にと、下記のとおり姉妹都市友好推進協会あてに義援金が届けられました。

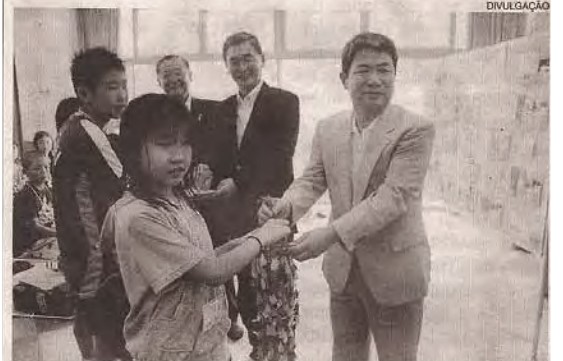
届けられた義援金は中津川市へ寄託し、市民の皆様から寄せられた義援金とあわせて被災地へ届けられました。

- ◆レジストロ・オウロ・ロータリークラブ
 (会長 清水・リーナ・春美氏(当時))
 250,000円
 - ◆レジストロ日伯文化協会
 (会長 金子国栄氏)
 - ◆レジストロ中津川姉妹都市協会
 (会長 高橋国彦氏)
 - ◆レジストロ・ロータリークラブ
 (会長 アンジェラ・スエリ・ゲデス・コヤマ氏)
- 以上3団体から
 797,000円(1万ドル)

~レジストロから送られた千羽鶴が福島に届く~

São Paulo, 08 a 14 de setembro de 2011

CIDADES/REGISTRO JORNAL NIPPAK
Senbazuru enviado por Registro chega a Fukushima



Koji Oyama, prefeito de Nakatsugawa, entrega o senbazuru e mensagem para representante dos alunos da Escola de Fukushima

Alunos da escola de língua Japonesa do Bunkyo de Registro e do CEL (Centro de Estudos de Línguas) enviaram senbazuru (mil dobraduras de grou) acompanhado de uma mensagem à Nakatsugawa, cidade irmã de Registro, pedindo para que a encomenda fosse entregue aos alunos das escolas que sofreram com a tragédia de 11 de março, desejando a sua recuperação.

Comercial daquela cidade entregaram aos alunos de Fukushima o senbazuru e a mensagem recebida de Registro.

Senbazuru – Dobradura de papel de mil grous, e costume tradicional do Japão. Geralmente os amigos e familiares dobram mil tsurus e oferecem para os doentes desejando-lhes a sua rápida recuperação.

(Kunie Kaneko)

No dia 12 de agosto, na tradicional festa de "Oiden Matsuri", a Prefeitura de Nakatsugawa convidou 58 alunos da 6ª série do curso fundamental, 14 professores e pais da cidade Okuma, da província de Fukushima que sofreram com o terremoto e tsunami. Nessa ocasião, Koji Oyama, prefeito de Nakatsugawa, Teruki Maruyama, presidente da Associação

「サンパウロ新聞」より

レジストロでは、日伯文化協会の日本語学校の生徒らが「何か被災地の子どもたちに励ましのメッセージが送れないか」と考え、復興を祈念した千羽鶴を折ることになったそうです。

2011年7月、完成した千羽鶴は復興に向けた応援メッセージとともに姉妹都市協会に届けられました。

そんな折、中津川おいでん祭実行委員会が震災復興支援として、福島原発により会津若松市にて避難生活を送っている福島県大熊町の小学生を、中津川の夏まつりに招待するという企画が立てられており、レジストロから届けられた千羽鶴をぜひ福島の子どもたちにお渡しした

ということと、贈呈の場を設けて頂きました。

当日は杉本姉妹都市協会長、丸山商工会議所会頭、大山市長から大熊町の小学生の代表者に千羽鶴と応援メッセージを渡し、遠く離れたブラジルの人たちも被災地の1日も早い復興を願っていることを伝えました。



がんばろう
 日本

学校給食にブラジル料理

市では、「姉妹都市との交流を生かした学校給食を」ということで、学校給食週間の中でブラジル料理を全市の小中学校の給食のメニューに取り入れています。



2012年1月の学校給食週間では坂下小学校などにおいて、試食会を行い、保護者や関係者らがブラジル料理を試食しました。

今回の試食会メニューは『コッペパン』、『イワシのトマトソースかけ』、『バンバ』、『野菜サラダ』でした。

※『バンバ』とはブラジル中部地方の寒い日の定番料理で、温かいトロトロのスープのことです。

2013年レジストロ市親善訪問団の募集

中津川市姉妹都市友好推進協会では2013年(平成25年)11月頃にレジストロ市を訪問し、姉妹都市交流を行う予定です。

つきましては、公式訪問団としてレジストロ市を訪問し、公式行事に出席していただく方を募集します。

なお、渡航費用等(約40万円)は自己負担となります。

参加を希望される方や親善訪問団に関する問い合わせは、下記事務局へお願いいたします。

『ブラジルに親しむ会』に参加しませんか

市内サークル「ブラジルに親しむ会」では、姉妹都市レジストロ市のあるブラジルについて、知識を深めています。

興味のある方、ポルトガル語を学びたい方は、お気軽にご参加ください。

問い合わせ先
ブラジルに親しむ会
酒井 (0573-66-1795)



平成24年度 会員募集

中津川市姉妹都市友好推進協会では、平成24年度の会員を募集しています。

申込用紙は、事務局(中津川市生涯学習課)のほか、中津川商工会議所、市内取扱金融機関の窓口に備えてあります。

当協会の活動を盛り上げ、国際交流の拡大を図るため、1人でも多くの皆さんの加入をお願いします。会費は次のとおりです。

	個人	一口	1,000円	
	団体	一口	5,000円	
	法人	一口	10,000円	

発行 中津川市姉妹都市友好推進協会
事務局

岐阜県中津川市栄町1番1号 にぎわいプラザ4階
中津川市役所文化スポーツ部生涯学習課内
TEL 0573-66-1111 (内線4313)
FAX 0573-65-5795
e-mail shogai-e@city.nakatsugawa.lg.jp

ふるさとじまん祭にて

姉妹都市レジストロを紹介

2011年10月28日から30日までの3日間、東美濃ふれあいセンターで開催されたふるさとじまん祭に中津川市姉妹都市友好推進協会が出展しました。

ブースにはレジストロ市の紹介パネルや7月に贈られた千羽鶴などの写真を掲示し、『ブラジルに親しむ会』の協力でブラジルコーヒーやブラジル菓子を来場者に配布して、ブラジルレジストロ市をPRしました。



会場では、「駅前のレジストロ通りの意味を始めて知った」という声も聞かれ、姉妹都市を知らない市民へのPRと意義を知ってもらう必要があると感じました。